

全国体力・運動能力・運動習慣等調査

昨年7月、5年生を対象に行われた全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が1月半ばに送られてきました。男女別に結果が出ていますのでお知らせします。

*実施種目（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20Mシャトルラン、50M走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ）

○男子～長座体前屈以外の種目で、すべて全道・全国平均を上回りました。特に、握力、立ち幅とび、ソフトボール投げの数値は、大きく全国平均を上回っています。

○女子～ソフトボール投げで全国平均を上回りましたが、他種目は平均以下でした。特に課題となるのは、20Mシャトルラン、50M走、立ち幅とびです。

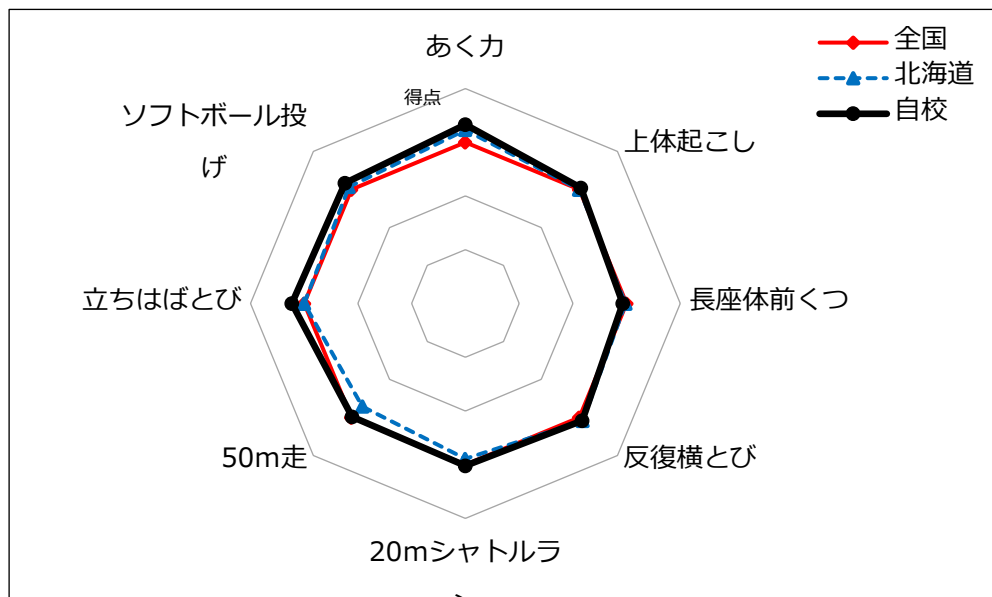
◎児童質問紙では、「運動やスポーツが好きですか?」という質問に、男子は76、5%が「好き」と回答、「やや好き」も合わせると全員になります。一方女子は、「好き」という回答が35、7%。逆に「きらい」「ややきらい」を合わせると21%となります。また78%の女子が、「自分の体力に自信がない」と答えています。オリンピックに関する興味・関心も、男子の方が女子より高い傾向にあります。このあたりが、男子と女子の結果の差につながっているかもしれません。

ただ、健康であるために、「運動・食事・睡眠が大切」と考えている子は、ほぼ全員です。また、体育の授業が「好き・楽しい」と答えています。さらに「最後までやり遂げてうれしかったことがある」「失敗を恐れないで挑戦している」の質問に対しても、多くの児童が「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と答えるなど、意欲の高さもうかがえました。

反面、テレビやビデオ・DVDの視聴時間が長い傾向にある児童もいたので、今後家庭生活を見直す必要があると感じています。個人票を受け取った際に、今一度、話題にいただければと思います。

つつじが丘小学校の体力について

5年男子



5年女子

